

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 山田 菜生子

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2022年10月分】

1. 実施した活動の概要・状況

10月は8日9日のモニターツアー、16日の湯野川のガサガサイベントなど、川内町の木々や山々も色づき始め、秋の自然資源を活用したイベントを多く行った。また、個人的には協力隊着任から半年がたち、協力隊としての活動内容や地域との関わり、他の協力隊員との連携の仕方などについて、見つめなおすタイミングとなった。そこで気づいた半年間の様々な反省点や自分自身が協力隊を志した原点などを、今後の活動につなげていければと思う。

〈主な活動〉

○10月2日（日） JSPA SUP ベーシックインストラクター検定会

10月2日、六ヶ所村尾駁沼にて行われた日本セーフティーパドルリング協会 SUP（スタンドアップパドルボード）ベーシックインストラクター検定会に参加・合格し、SUP ベーシックインストラクターとして認定を受けた。検定会の中では、救助に関する実践科目も多く、自分自身よりも体格が大きいゲストや意識がないゲストを救助する方法など、実践しながら学ぶことが出来た。7月に合格したシーカヤックベーシックインストラクターに続き2つ目のアクティビティインストラクターの資格となるが、資格取得に満足せず、アクティビティの安全運行、また内容の開発のため、定期的な練習やアクティビティについての見直しを行っていきたい。



検定合格者で記念撮影



指導法試験の様子

○10月8日(土)、9日(日) むつ小川原地域産業・振興財団助成事業 川内町モニターツアー

一般社団法人しもきた TABI あしすと様、株式会社 JTB 様、青森県内の大学在学中の大学生にご参加いただき、むつ市川内町の特徴を生かしたモニターツアーを実施した。1日目は川内名物けいらん作りから始まり、川内溪流の遊歩道・安部城鉱山跡散策ののち、ふれあい温泉川内に入浴。2日目は川内川からかわうち・まりん・びーちまで、シーカヤック・SUPに乗って下るアクティビティ体験を実施した。ツアー後のアンケートには「地域の方とけいらん作りが出来ておもしろかった」「クイズ要素があると子どもも楽しめるツアーになると思う。」など様々な感想が寄せられたため、これらを活かし、一般客を対象としたツアー開発につなげていきたい。



けいらん作りの様子



カヤック・SUP ツアーの様子

○10月23日(日)、30日(日) 青森県教育委員会委託「地域の思いをつなぐ」若者育成事業

7月に開始した「川内町の先輩にインタビューin むつ市川内町」も終盤に差し掛かり、10月はすべてのチームがインタビューを終え、インタビュー記事の作成に取り掛かった。部活動や3年生の大学受験の関係でチームメンバー全員集まって活動することが難しいなか、事業に参加している高校生は活動日以外にもそれぞれの高校で集まったり、グループメッセージを使ったりして、チームとして納得のいく記事になるよう進めてくれていた。当事業は12月中旬に、インタビュー記事の完成披露のための発表会を予定しており、今後は完成に向けて話し手の方による記事の校閲などを経て、記事の最終調整を行っていく。



23日の様子



30日の様子

2. 翌月の活動予定

1 1月は下記の活動に加え、引き続きカマイルカの骨格標本作成作業を行う。

1 1月4日 川内中学校での講義

1 1月中旬 若者育成事業

1 1月20日 青森大学むつキャンパス文化祭

1 1月26日 青森 TV「みんなの県庁！」放映